科目名称	データベース開発					ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報 (○)
英文科目名称	Database Development					グローバル・コミュニケーション	( )	医療事務・医療秘書 (○)
科目コード	590150	授業形態	演習	単位数	2			
教員氏名	山本　浩貴	年次配当	２年次		後期	ホテル・観光	( )	大学編入 ( )
実務経験教員担当	(有)・無	アクティブラーニング				有・無		

授業概要及び授業方法	データベース演習を引き継いで、更にステップアップして、企業の実務現場で活用できる、実践的なデータベース活用技術と業務システム開発手法を学習する。 本教科では単なる操作だけではなく、企業の業務をどのようにデータベース化して、業務処理システムを構築できるかをテーマにする。 具体的には顧客管理システム、売上管理システムなどの企業の業務システムを実例として、データベースを使ってシステム開発を学び、実社会の業務システムの仕組みや、システム開発の手法も学ぶ。 ＊データベース演習を履修した学生のみを対象とする。
関連する科目	データベース演習　　卒業認定(学習成果)との関連　①③⑥
授業計画	１．復習と住所管理システムを開発 ２．メディア管理システム構築１。メディア管理システムとは。テーブル、フォームの作成 ３．メディア管理システム構築２。クェーリ、フォーム、レポートを作成。メインメニューによる自動化 ４．売上管理システム構築１。売上管理システムの構成。マクロとは ５．売上管理システム構築２。各種テーブル、フォームの作成 ６．売上管理システム構築３。各種クェーリの作成 ７．売上管理システム構築４。各種レポートの作成。メインメニュー作成とマクロの活用 ８．顧客管理システム構築１。レンタルビデオ店における顧客管理システムの構成 ９．顧客管理システム構築２。各種テーブル、フォームの作成 １０．顧客管理システム構築３。各種クェーリの作成 １１．顧客管理システム構築４。各種レポートの作成 １２．顧客管理システム構築５。メインメニューとマクロの作成 １３．自由課題制作 １４．自由課題制作 １５．自由課題制作
授業時間外の学習	復習を重点的にすること。（２時間程度）
授業の到達目標	データベースの基本的な操作を習得したうえで、業務システムを理解し、システムを設計構築して、マクロによるシステムの基本的な自動化ができるレベルを目指す。
課題に対するフィードバック	課題に対するフィードバックは授業中に行う。　評価方法・基準：課題提出（80%） チームへの貢献度（20%）
テキスト	ACCESSによるシステム構築問題集（ムゲンダイ出版）
参考書	授業の進度に応じて適宜紹介。
備考	